



令和7年度 名寄市 全国学力・学習状況調査の結果

①教科調査

Update 2025.10.30
名寄市教育委員会

令和7年4月17日（木）、小学校第6学年、中学校第3学年を対象にした「全国学力・学習状況調査」が実施され、名寄市では市内全小中学校の対象児童生徒（小学生**151**名、中学生**156**名）が当調査に参加しました。（＊智恵文小中学校においては、前期課程が小学校、後期課程が中学校に含む。）

同年7月中旬、調査結果を受け取り、児童生徒が身に付けるべき学力の特定の一部であることや学校における教育活動の一側面であること等に留意しながら分析を進めてまいりました。

このたび、今後、明らかになった課題の克服や、児童生徒の学力・学習意欲の向上を図るため、学力や学習状況の傾向、指導の改善策等について取りまとめましたので、お知らせいたします。

調査概要

目的 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、
・全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
・学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
・そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

【調査対象】 小学校第6学年、中学校第3学年

【調査事項】 ①児童生徒：教科調査（国語、算数・数学、理科）、質問調査 ②学校：質問調査

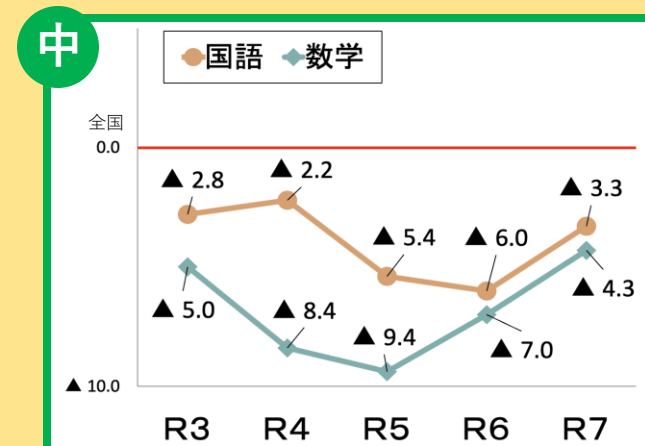
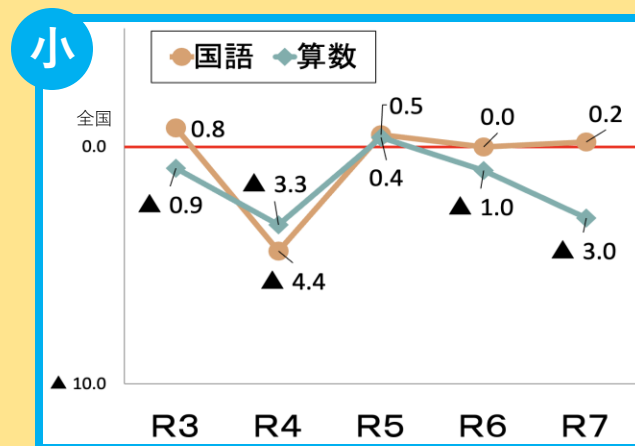
【調査問題】 学習指導要領で育成を目指す、「知識及び技能」や「思考力、判断力、表現力等」を問う問題を出題。

教科に関する調査の結果

R7 平均正答率	小学校			中学校		
	国語	算数	理科	国語	数学	理科
名寄市	67	55	58	51	44	478
北海道	65	55	56	54	47	505
国	66.8	58.0	57.1	54.3	48.3	503

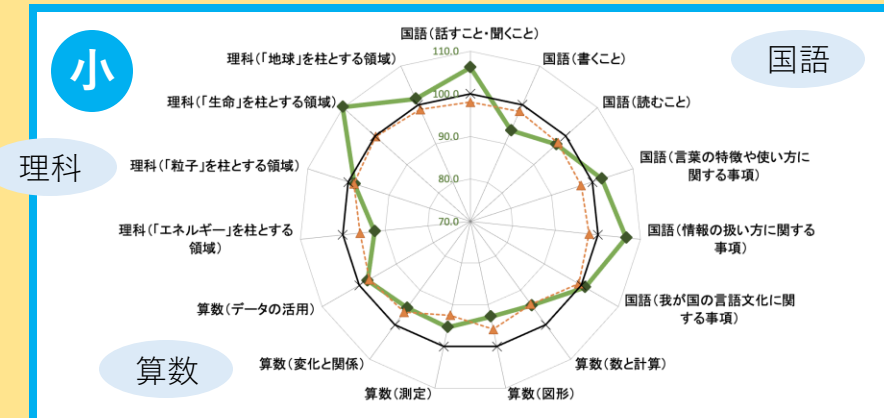
経年変化

※数値は全国平均正答率との差



教科の状況

※教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び本市の状況をレーダーチャートで示したものです。（本市の平均正答率÷全国（公立）の平均正答率×100で算出）
※中学校の理科の結果は、IRTスコアで表されるため、レーダーチャートに表示していません。



教科に関する調査の結果ポイント ○成果 ●課題

- 【国語】
(小) ○ 意図に応じて、話の内容を捉えることは概ねできている。
● 目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けることに課題がある。
(中) ○ 文章全体と部分との関係に注意しながら、登場人物の設定の仕方を捉えることは概ねできている。
● 文章の構成や展開について、根拠を明確にして考えることについて課題がある。
- 【算数・数学】
(小) ○ 角の大きさについて概ね理解している。
● 分数の加法について数や言葉を用いて記述することに課題がある。
(中) ○ 確率について概ね理解している。
● 式の意味を読み取り、成り立つ事柄を見出し、数学的な表現を用いて説明することに課題がある。
- 【理科】
(小) ○ 顕微鏡を操作することや、差異点や共通点を基に、新たな問題を見だし、表現することは全国よりできている。
● 電気の回路の作り方について、実験の方法を発想し、表現することに課題がある。
(中) ○ 気体の性質に関する知識が概念として概ね身に付いている。
● 考察をより確かなものにするために必要な実験を選択し、予想される実験の結果を記述することに課題がある。

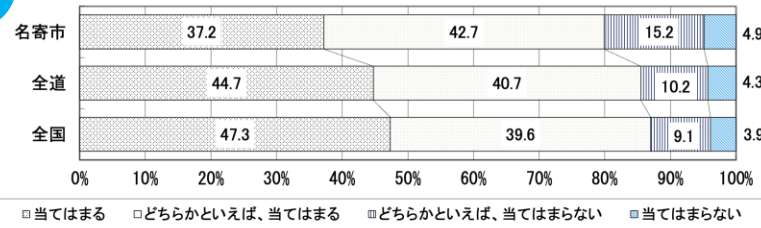
→ **「思考力・判断力・表現力等」が各教科の共通課題**であるため、確かな学力の育成に向け、**「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を全ての教科で**さらに進めていくことが重要。



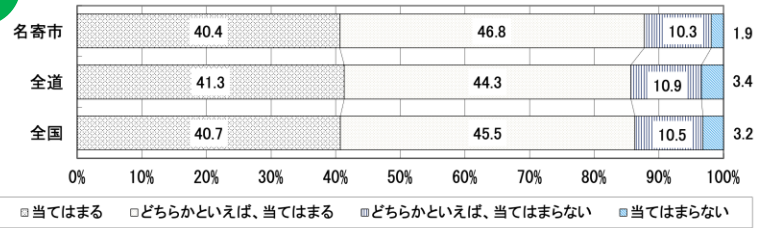
質問調査の結果

質問「自分には、よいところがある」

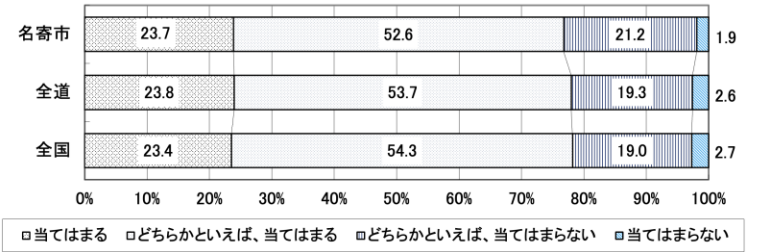
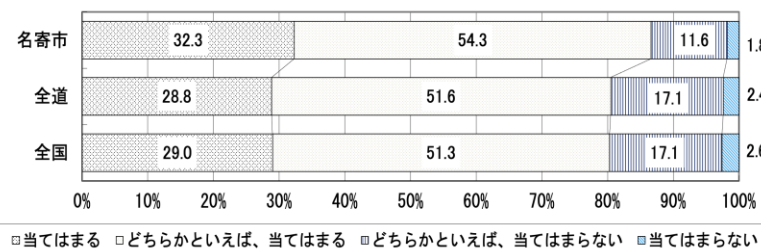
小



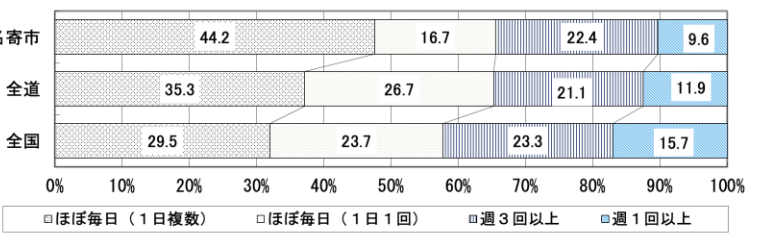
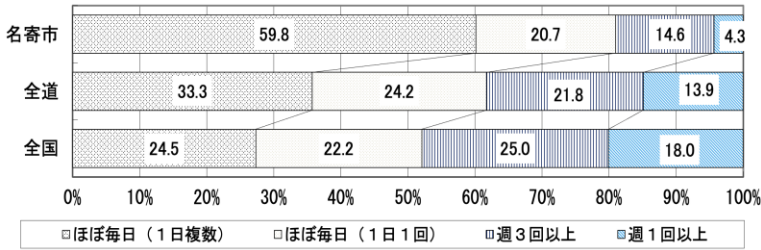
中



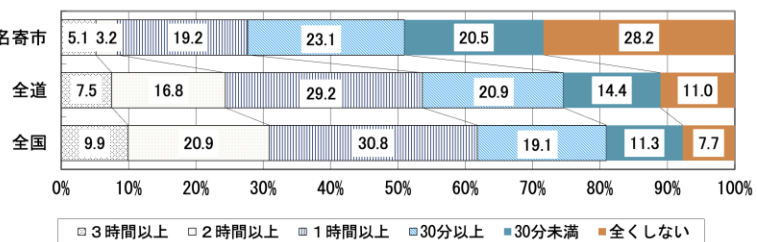
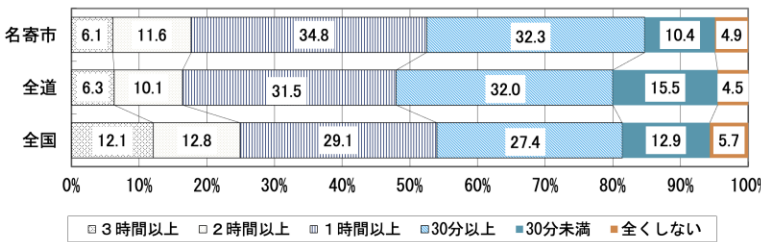
質問「授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいる」



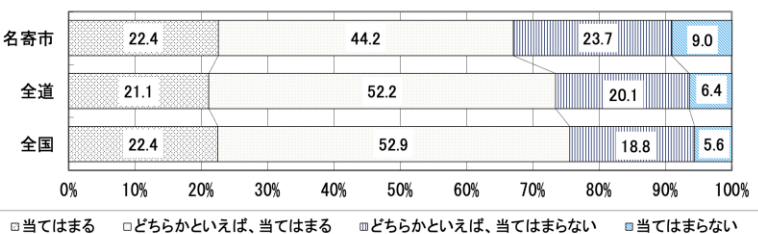
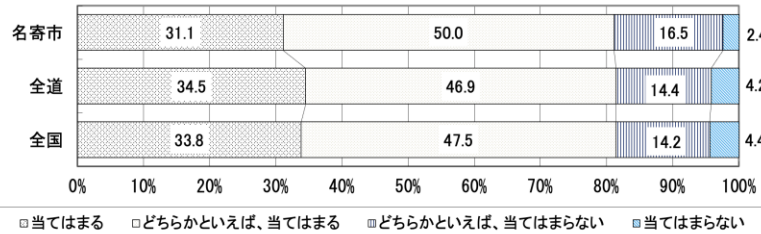
質問「授業でICT機器を使用している」



質問「学校の時間外における普段（月曜日から金曜日）の1日当たりの勉強時間」



質問「地域や社会をよくするために何かしてみたい」



「名寄市学校教育推進計画」との関わり

第1 信頼さる学校づくりの推進

【ウェルビーイングの実現を目指す学校づくりの推進】
・ウェルビーイングを実感できる学校づくり

第2 生きる力を育てる教育の推進

【確かな学力を育てる教育の推進】
・主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善

第2 生きる力を育てる教育の推進

【確かな学力を育てる教育の推進】
・ICTを活用した学びの充実

第2 生きる力を育てる教育の推進

【確かな学力を育てる教育の推進】
・家庭学習の充実

第2 生きる力を育てる教育の推進

【豊かな心を育てる教育の推進】
・ふるさと教育の充実



結果の分析

小

【全体】小学校においては、名寄市教育研究所や名寄市教育改善プロジェクト委員会が中心となり、市内小中学校が一体となって主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を推進したことや、小学校理科専科教員による専門的な教科指導を行ったことにより、国語の1領域3事項及び理科の2領域で平均正答率が、全国及び全道を上回ったと考えられる。

【成果】小学校の教科等の指導に当たって、地域や社会で起こっている問題や出来事を学習の題材としてよく取り扱うなど主体的な学びを充実させたことにより、「授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいる」と肯定的に回答した児童の割合が全国及び全道を上回ったと考えられる。

【課題】算数の平均正答率が全国及び全道を下回っている状況は、数学的な表現を用いて記述したり、説明したりするなど、思考力・判断力・表現力等が十分に身に付いていないことが、要因の一つと考えられる。

中

【全体】全体 中学校においては、名寄市教育研究所や名寄市教育改善プロジェクト委員会が中心となり、市内小・中学校が一体となって主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を推進したことにより、令和6年度調査と比べ、国語と数学の平均正答率が全国の平均正答率の差を縮めたと考えられる。

【成果】生徒がそれぞれのよさを生かしながら、他者と情報交換して話し合ったり、異なる視点から考えたり、協力し合ったりできるように学習課題や活動を工夫するなど対話的な学びを充実させたことにより、「学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができている」と肯定的に回答した生徒の割合が全国及び全道を上回ったと考えられる。

【課題】3つの教科の平均正答率が全国及び全道を下回っている状況は、思考力・判断力・表現力等が十分に身に付いていないこと、家庭学習が習慣化されていないこと、学びを振り返るなどの主体的な学習の調整が十分ではないことが、要因の一つと考えられる。

今後の改善策

授業づくりで意識すること

「どうしてこの学習をするの？」

→学ぶ意義の共有

「単元の終わりには、こんな姿になっているよ」

→ゴールの姿の共有

「どうしてそう思ったの？」

→子どもが考え、判断し、表現する場面の確保

「今回の学びをどう生かす？」

→学びを振り返る場面の確保



【学校】

☑主体的・対話的で深い学びの“実装”に向けた授業改善の推進

各教科の学ぶ意義の共有、育成を目指す資質・能力の明確化、内容や時間のまとまりを見通した単元(題材)のデザインの工夫(思考・判断・表現する場面や学びを振り返る場面の設定、授業と家庭学習が連動する単元構成)、教科指導と生徒指導の一体化による互いに学び合う学習集団づくり

☑子どもがICTを“主体的”に活用する教育活動の充実

ICTを活用した一人一人に応じた学習活動や学習課題に取り組む機会の積極的な提供(例:探究的な学習、遠隔授業、家庭学習等)、AIドリル等のICTを活用した家庭学習の充実

教科指導と生徒指導の一体化

「いいね！」

→頑張りをほめる声掛け(自己肯定感)

「どうしてできたの？そうやって頑張ったからできたんだね」

→頑張りの過程を認める声掛け(自己有用感)

キラキラと輝き

いきいきと学ぶ

子どもの育成

【家庭・地域】

☑家庭での“会話”の充実

子どもの成長にとって、食事・睡眠・会話は欠かせません。特に、学校の様子を聞くなど、お子さんと毎日、たつぷりと会話をすることを心掛けましょう。

☑地域の“笑顔”があっての学校

地域の皆さんのひまわりのような笑顔が学校を明るくします。特に、子どもの登下校の際の見守りを引き続き、よろしくお願いします。

【教育委員会】

☑授業改善、学年・学級経営のサポート

名寄市教育改善プロジェクト委員会と連携した、市内小中学校が一体となって進める「主体的・対話的で深い学び」の実装に向けた授業改善と学年・学級経営の充実に向けた取組の支援

☑ICTを活用した教育活動のサポート

名寄市教育改善プロジェクト委員会と連携した、ICTを日常的に活用した教育活動及び「個別最適な学び」と「協働的な学び」の実現に資する1人1台端末を活用した指導方法や教材等の工夫・改善に向けた取組の支援

☑教職員の指導力向上を図る研修会の実施

小学校専科教員による公開授業及び研究協議や、英語教育小中連携協議会などの実施